

# 人やものとのかかわりの中でつくる総合的な音楽活動

—複式高学年「マイテープをつくろう」の実践を通して—

川 口 万 里

## 1 はじめに

今年度は、「自立」に向かって子どもたちがより主体的に生き生きと活動する音楽科の学習をめざして、次の2つの点について実践の工夫を考えてきた。

①学習のプロセスの工夫<sup>注1</sup>

②コミュニケーション形成（人やものとのかかわり）の場の工夫

### (1) コミュニケーション形成（人やものとのかかわり）の場の工夫について

『かかわり』をキーワードに音楽科の学習を思い浮かべてみると、まさにそれによって全てが成り立っているといっても過言ではない。音楽は、人と人を結ぶ大切な絆である。音楽を学ぶ中で、好ましい対人関係やコミュニケーションを築いていく能力も身についていくはずである。音楽の技能や知識の獲得に偏りがちな学習を今一度見直し、人とのかかわりを大切にしながら音楽の良さを知っていく学習というものを考えていきたい。

### (2) 音楽科の中の「かかわり」

音楽科の中で最も大切な「かかわり」は、音楽活動を媒介としたコミュニケーションであろう。音楽は、発信者—受信者という関係において活動が成立している。自分が相手に発信していく側になる場合と、自分が相手からの発信を受け取る側になる場合のどちらにもなりうる。前者では、自分の意志（思い）を伝える手段として、「音」「音楽」を用い表現していく。後者は、相手の表現を受け取る。すなわち、鑑賞することである。

この過程では、特に、アサーティブネス（積極的自己表現）<sup>注2</sup>の力を育てていくことを課題にしたい。音楽活動に欠かせないあたたかい人とのふれあいや心の交流の大切さを学んで行くためには、ただ相手から求めるだけでなく、自分から相手に与えることも必要である。まず、自分の感情・意見・考えを表現でき、集団の中での自分を認めてもらいたいという承認欲求を実現させていく。それらがうまくいくと、特定の相手（受け取り手）を意識した活動の中で、伝えるための表現技能をも磨いていくことができるようになると思う。

### (3) めざす子どもの姿

次のようにめざしたい子どもの姿を設定した。

- (ア) 自分の経験を生かして、周りの人との調和を図りながら自己選択・自己決定ができる。
- (イ) 友だちと協力したり、共感したりしながら、納得のいくまで活動に集中したり没頭したりすることができる。
- (ウ) よりよいものを目指して、安易に妥協せず、意志を持って追求していくことができる。

### (4) 研究仮説

音楽活動の学習過程において、人やものとかかわる場面を大切に、それを生かす場の設定をすることによって、友だちと力を合わせて音楽をつくり、演奏する楽しさを味わうことのできる子どもが育つであろう。

## 2 実践例（複式高学年の取り組み）

(1) 題材名 「マイテープをつくろう」

(2) 題材について

本題材は、クラスの仲間と協力してお気に入りのオリジナルマイテープを作成するという活動

を通して、音楽をより主体的に楽しむ態度を養っていくことがねらいである。音楽科の年間授業時数の削減にともない、学習内容の新たな精選の必要性が生じている。その対策の一つとして、様々な活動を総合的に扱うロングスパンの題材を計画した。前期に実施した「合唱のレパートリーをふやそう」「合奏のレパートリーをつくろう（管楽器・ストンプに挑戦!）」に続く題材である。今までのレパートリーの中から曲を選択し、友だちと力を合わせて練習を積み重ね、仕上げとしてテープに録音するという活動過程が、自分は音楽とどうかかわってきたかということを見つめる良い機会となるであろう。そして、そのかわりの中で質の高いものをめざす活動ができてきたかどうかをふりかえることもできるであろう。その時、自分の思いをきちんと表現し相手に伝えることの大切さに気づいてほしい。クラスみんなで力を合わせて創り上げた「マイテープ」完成の喜び、感動を味わうことで、それを感じ取ることでできる豊かな気持ちを育てていきたい。

### (3) 指導目標

- ① 自分の役割を果たしながら、思いやアイデアを込めたマイテープづくりに進んで取り組み、よりよいものをつくろうとすることができるようにする。
- ② 自分のイメージを大切にしながら、表現の仕方を工夫することができるようにする。
- ③ 音の響き合いや全体のバランスに気を付けて演奏することができるようにする。
- ④ 友だちの表現の良さに気づいたり、全体や自分の改善点を探しながら聴くことができるようにする。

### (4) 指導内容と計画…………… 9時間

- 第1次 テープ作成計画を立てる…………… 2時間
- 第2次 録音に向けて必要な練習とリハーサルをする…………… 4時間
- 第3次 録音（発表会）をする…………… 1時間
- 第4次 録音を聴き、ふりかえる…………… 2時間

### (5) 授業設計の焦点

学習リーダーの司会によって授業を進めていく。教師は活動を見守り、その場で必要なアドバイスをよく見極めて行うようにする。意見交換の場では、一人一人の思いが素直に出し合えるような雰囲気作りを心がける。友だちの意見を参考に自分の考えを修正することも、必要に応じて声かけしていく。

### (6) かかわりを生み出す授業づくりのポイント

- ◎ 学習リーダーと学習（授業）計画を事前に打ち合わせる。学習リーダーが授業の司会を行う。
- ◎ 意見交換の場を設定し、時間を十分に取る。
- ◎ 全員が意見や思いを言う場をできるだけ持つ。

### (7) 音楽づくりのポイント

- ◎ 具体的なイメージに基づいてつくる活動に取り組んでいけるように、鑑賞の場やその内容を工夫する。

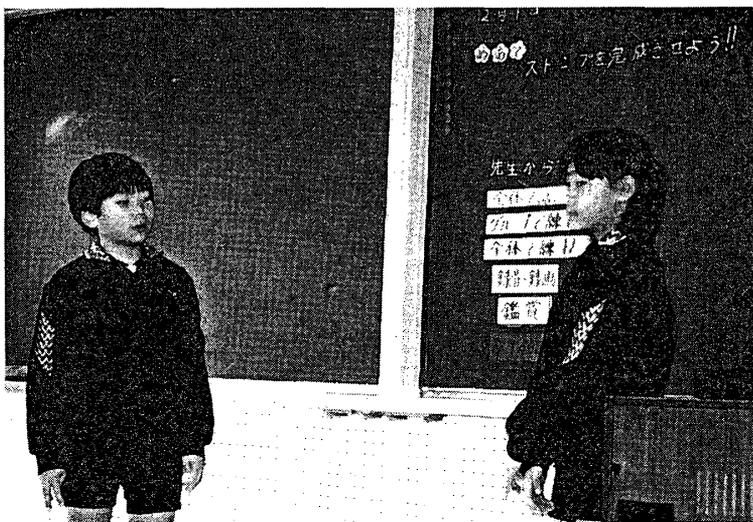
### (8) 学習の流れ

#### 【第1次】 テープ作成計画を立てる…………… 2時間

- ・学習リーダーを選ぶ。（2名）
- ・めあてを決めよう。（どんなテープにしたいか、イメージしよう。）  
「楽しく明るく協力して、個性がありまねできない、盛り上がるテープにしよう。」
- ・複高の合唱団名（チーム名）をつけよう。「複高モンキーズ」
- ・テープを仕上げる手順を考えよう。  
（テープを仕上げていく過程を思い浮かべ、活動の見通しを持とう。）

[子どもたちが作った計画]

授業日	やること
11/15	計画
17日	管楽器
22日	アンサンブル
24日	合唱
29日	その他
12/1	ストンプ
6日	リハーサル (管楽器)
8日	リハーサル
13日	発表会
15日	ふりかえり



・プログラムをつくろう。

(今年度学習してきた曲をリストアップし、プログラムに入れたい曲を選ぶ。)

〈今までに取り組んできた曲〉	〈子どもたちが選んだ曲〉
《合 唱》	
翼をください ゆかいに歩けば こいのぼり いつでもあの海は 青空へのぼろう	翼をください ゆかいに歩けば × いつでもあの海は 青空へのぼろう
《アンサンブル》	
口ぶえふいて ラバースコンチェルト	× ラバースコンチェルト
《管 楽 器》	
メリーさんの羊 キラキラ星 ぶんぶんぶん 史上最大の作戦マーチ	× × × 史上最大の作戦マーチ
《ス ト ンプ》	
複高オリジナル	複高オリジナル
《そ の 他》	
今月の歌 (4月~10月)	芽吹く季節 この星に生まれて 世界中の子どもたちが

演 奏 順
①ラバースコンチェルト (6年のみ)
②この星に生まれて (二部合唱)
③翼をください (二部合唱)
④ゆかいに歩けば (二部合唱)
⑤世界中の子どもたちが (合唱奏)
⑥ストンプ複高オリジナル (リズムアンサンブル)
⑦いつでもあの海は (二部合唱)
⑧青空へのぼろう (二部合唱)
⑨芽吹く季節 (二部合唱)
⑩史上最大の作戦マーチ (管楽器アンサンブル)

・指揮者と伴奏者、演奏順を決めよう。

子どもたちの学習中の様子

計画しなければならない内容がたくさんあった。授業では、リーダー選出、めあてと学習の見通しや選曲を話し合った。残った内容（発表会を開くための具体案等）は学習リーダーが帰りの会や学活で提案し、決めていった。予想より盛りだくさんのプログラムが決まっていたので、1番だけの演奏にするなどし、30分で収まる内容にしようとして声かけをした。どうやって録音するかと投げかけたところ、発表会を開いてそれを録音したいという案にまとまっていった。お客さんに来ていただいていい緊張感のある中で演奏したい、あとで感想を聞いて次の学習に生かしたい、という理由であった。さらに、ただ録音するより思い出としてしっかり残るのではないかという意見が出て、発表会を開こうという方向に子どもたちのやる気がまとまっていった。

【第2次】 録音に向けて必要な練習とリハーサルをする……………4時間

・右は、学習連絡ノートである。授業日の前日にリーダーと5分程度の時間で、学習の進め方と役割について相談しておいた。

子どもたちの学習中の様子

授業のはじめに、学習リーダーがめあての確認をすることによって、意欲を持って活動に取り組めた。また、音楽づくりについて各自の思いを言える子どもがふえていった。「もっと速くした方がいいんじゃない?」「出だしが合わなかったからもう1度やってみよう。」など、教師に任せがちな場面でも意見が出るようになっていった。

・『ストップ』について

9月に東雲中学校の方から、中2・3の選択音楽の授業の中で、小学生を対象にした音楽会を企画し実施したいので、聴きに来てくれないかというお話があった。中学生との願ってもない交流のチャンスであったので、複式高学年のクラスもお願いして、早速音楽室へ出かけていった。今回子どもたちが立てたプログラムは、この経験に強烈な影響を受けている。特に、一番感激してすぐまねしてやってみたいと言ったのが『ストップ』である。これは、イギリスで生まれたパフォーマンスで、楽器でない身の回りのものを音素材として使い、リズムと身体の動きを自由に組み合わせて表現したものだ。中学生がどうやってつくったかを教えてもらい、教育実習生とともに手探りで取り組んでいった。拍の流れにうまくのること、子どもの発想から出てくるリズムや表現方法を生かし組み合わせを工夫すること等をねらっていった。

子どもたちの学習中の様子

一人1組のスティックを持ち、曲によってリズムを刻んでみるという活動から入っていった。子どもたちは、ひたすらリズムを刻む活動に没頭していき、あきるということがなかったように見えた。自分のお気に入りのリズムを見つけたら、グループを組んでいき、リズムの組み合わせを楽しんでいった。そして、オスティナートの役割をする人を決め、グループごとにつくったリズムをリレーして一つの曲としてまとめていった。他のグループのつくったものを聴いて刺激を受け、自分たちももっとおもしろいリズムにしていきたいという欲求が高まり、練習に熱が入っ

録音のみなさんへ

音楽 月 日 ( ) 校時の予定

めあて

(学習の流れ)

I めあての確認	( )
II 学習の進め方について	( )
III	( )
IV	( )
V	( )
VI	( )
VII	( )
VIII	( )

①個人練習      ②全体練習      ③パート練習  
 ④グループ練習      ⑤意見交換      ⑥まを合い  
 ⑦話し合い      ⑧ふりかえり      ⑨鑑賞  
 ⑩仕上げる練習      ⑪発表      ⑫先生より  
 ⑬次の学習について      ⑭

速 録

欠 録

ていった。つくったリズムの中に表れる拍子感、フレーズ感、テンポ感などに子どもたちの持っている力が反映されていた。ライヒの「木片の音楽」や「マーチングパーカッションアンサンブル」等を鑑賞し、反復の楽しさや、音色の組み合わせのおもしろさに気づいていけるよう支援を行った。

【第3次】 録音（発表会）をする…………… 1時間

・子どもたちの希望により、校内の先生方を招待した。来てくださった先生方にアンケートを書いていただいた。アンコールをしていただき、とても喜んでいた。何をやるかその場で相談し、『ストンプ』を選んだ。あたたかく見守り拍手をくださった先生方に感謝する気持ちを持つと同時に自信がつき、満足感を得ることができたようだった。

【第4次】 録音を聴き、ふりかえる…………… 2時間

子どものふりかえりより

☆今までで一番うまくできたかもしれないのが、「ストンプ」でした。一生けん命やったので、先生方（来てくださった）も喜んでくださったのでよかったです。あきらめずに、失敗しても、つづける努力というものを教えられたような気がします。

(9) 実践を終えて

今回は、中学校との交流をきっかけに、子どもたちの音楽活動をひろげていくことができた。また、よりよい演奏をテープに録音しようというはっきりとした目標を設定したことによって、子ども同士もしっかりとかかわっていくことができたと思われる。また、相手の感想を求めたり録音を聴いたりすることによって、ふりかえりがより深まり、子どもたちは次の活動へ意欲（期待感）を持つことができた。

3 今後の課題

発表会という活動は、子どもたちにとって「わくわくドキドキ」する楽しい活動である。子どもたちは、自分たちが一生けん命やれば認めてもらえるだろうという期待感を持って練習に取り組む。指導者から見てもう少しというところはあっても、発表（録音）という一つの節目を越えた時には、互いの努力をしっかりと認め合うことがとても大切なことだと強く感じた。また、音楽活動が密室に閉じこもったものに終わらず、外へ向けて自分たちからも積極的に発信していくことをもっとねらっていきたいと思った。今回の実践の中にも、人やものとかかわる場の設定は、もっと工夫できる余地が残されているので、課題にしていきたい。また、音楽科における総合的な活動を効果的に仕組んだ題材を工夫していき、どの学年の年間計画にも位置づけていきたい。

■注及び引用・参考文献

注1) これについては、初等教育第77号p50～p54で述べた。

注2) Assertiveness自己主張。他者への思いやりを持ち、相手の権利を侵害することなく自分の考えを主張していくこと。コミュニケーションスキルの教育やトレーニングで重要な要素のひとつである。

1) 皆川 興栄『総合的学習で学ぶライフスキルトレーニング』明治図書、1999、P32-36

来て下さってありがとうございました

★アノケート★へモネズを見て

①一番心に残った歌は？(曲は？)

1位(9) 芽吹く季節 )

2位(10) 犬と最大の作戦マーチ )

理由

(①)はほんとに美しい歌声、感動！(②)は全員が楽器を  
したことが

②心に残った曲は？(曲は？)

( 芽吹く季節はいい曲はありせん  
(涙) )

それ以外の曲は、それ以外の曲は  
がめあてを決めて挑戦して  
いってほしい

理由

( 3位 レベルアップ！ )

全校の前で発表したらいいと思っ

③先生の感想

( ①一人一人が活発でできていた )

( ②曲の紹介も、自信をもって、断然言葉でできていた )

( ③音楽そのものを楽しんでいた )

300点 満点

今日はどうでしたか？(書いて下さい)

④

ご協力ありがとうございました

後編「モンキーズ」一同